

ボリュームインジケータ

出来高指標は、指標の算出において値動きだけに依存するのではなく、まったく異なる情報、すなわち出来高（トレード参加者の多さ）を算式に組み込んだものであるため、テクニカル指標の多様性を大いに高めるものです。

値動きは相場の方向性を示唆しますが、出来高はその値動きの背景を示すものです。例えば、出来高が高い中で価格が上昇している場合は、その後さらに上昇するはずと考えている投資家がたくさんいるということになります。トレーダーにとって楽観的な材料となるものであり、その証券CFDの買いに必要な信認を与えるものです。一方、出来高が低い中で証券CFDの価格が上昇している場合は、その後さらに上昇するはずと考えている投資家が少数しかいないということになります。これはトレーダーにとって悲観的な材料となるものであり、その証券CFDの購入を思いとどまったり、買う前に再考することになります。では、以下のいくつかの出来高指標について見てみましょう。



Accumulation/Distribution Indicator

相場の方向性を図るオシレータ系のテクニカル指標です。

相場とのダイバージェンス（乖離）を確認したときを「買い」または「売り」の圧力が掛かっているとして捉え、オープンポジションのシグナルとして捉えます。

トレンドの確認：

- インジケータの上昇する指数は上げ相場を確認します；
- インジケータの下げる指数は下げ相場を確認します；



計算式

$$A/D(t) = [((C - L) - (H - C)) / (H - L)] \times \text{Vol} + A/D(t-1),$$

A/D(t) – インジケータの指数;

A/D(t-1) – 前の指数;

H – ハイ;

L – ロー;

C – クローズ;

Vol – 量。

Money Flow Index (MFI) Indicator

Money Flow Index (MFI) – オシレーター系のテクニカル指標。

RSIは終値だけを使うが、それを、Typical Price × 出来高に置き換えた物。

買いすぎ/売りすぎ：

- 指数が80以上で、買いすぎです。
- 指数が20以上で、売りすぎです。

計算式

計算式は以下のようになります。

1. $TP = (H + L + C) / 3$;
2. $MF = TP * Vol$;
3. $MR = \text{Sum}(MF+) / \text{Sum}(MF-)$;
4. **$MFI = 100 - (100 / (1 + MR))$** ,

TP – 平均値;

H – ハイ;

L – ロー;

C – クローズ;

MF – マネーフロー;

Vol – 量;

MR – マネー指数。



On-Balance Volume (OBV) Index Indicator

OBV(On Balance Volume)はグランビルが、出来高は価格に先行する傾向がある、という考えに基づいて考案した出来高指標です。

OBV(On Balance Volume)指数はトレンドを確認します。

トレンドの確認:

- 価格変化とOBVが同期して上昇・下落していればそのトレンドは強い
- 価格がOBVに先行して上昇・下落するが、OBVは停滞し始めた時は、価格は引き戻される
- OBVが価格に先行して上昇・下落するが、価格は停滞し始めた時は、早晚価格は上昇・下落を継続しOBVに追随する



計算式

$C(t) > C(t-1)$ なら、 $OBV(t) = OBV(t-1) + Vol$;

$C(t) < C(t-1)$ なら、 $OBV(t) = OBV(t-1) - Vol$;

$C(t) = C(t-1)$ なら、 $OBV(t) = OBV(t-1)$

t – 今の期間;

t-1 – 前の期間;

C – クローズ;

Vol – 量

Forex Volumes

ボリューム指数は株等が一日、あるいは一週間や一ヶ月に成立した売買の数で、株の場合は株数、先物の場合は枚数で表される。

ボリューム指数はトレンドを確認し、トレンドの終わりを表示します。

トレンドの確認:

- 価格が上昇する場合、ボリューム指数も上昇するのは上げ相場を確認します;
- 価格が下落する場合、ボリューム指数も下落するのは下げ相場を確認します。

トレンドの可能な変更:

- トレンドがあれば、ボリューム指数が下げる場合、トレンドの反転が可能になります。

計算式

出来高 = 一日、あるいは一週間や一ヶ月に成立した売買の数です。

